

Ⅲ. 財務の概要

1. 資金収支計算書（活動区分含む）の概要

教 教育活動 施 施設整備等活動 他 その他の活動

(単位：億円)

科目	予算額	21年度	差異
収入の部			
① 学生生徒等納付金収入	319	321	△ 2
手数料収入	10	10	0
寄付金収入	4	3	1
② 補助金収入	65	62	4
(国庫補助金収入)	(46)	(45)	2
(地方公共団体補助金収入)	(19)	(17)	2
③ 資産売却収入	380	323	57
付随事業・収益事業収入	13	11	2
④ 受取利息・配当金収入	11	14	△ 3
雑収入	9	11	△ 2
借入金等収入	30	30	0
前受金収入	58	59	△ 1
その他の収入	59	62	△ 3
資金収入調整勘定	△ 65	△ 72	7
前年度繰越支払資金	157	157	0
収入の部合計	1,049	990	59
支出の部			
⑤ 人件費支出	215	211	4
⑥ 教育研究経費支出	104	89	16
⑦ 管理経費支出	22	18	4
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	32	32	0
⑧ 施設関係支出	25	24	1
⑨ 設備関係支出	13	12	2
資産運用支出	464	430	34
その他の支出	30	29	1
[予備費]	11		11
資金支出調整勘定	△ 10	△ 15	5
翌年度繰越支払資金	143	161	△ 18
支出の部合計	1,049	990	59

資金収入の部

- ① 学生生徒等納付金収入 **教**
 学生・生徒数は、全体で24,577人となり、全体で321億円の収入となりました。
- ② 補助金収入 **教 施**
 補助金収入全体で、62億円の収入がありました。
 国庫補助金では、経常費等補助金で26億円、授業料等減免費交付金で13億円の収入がありました。
 施設整備費補助金では、摂大寝屋川キャンパス3・4号館解体工事、同7号館耐震改修工事など私立学校施設整備費補助金等で6億円が採択されました。
- ③ 資産売却収入 **施 他**
 有価証券、金銭信託等の償還により323億円の収入となりました。
- ④ 受取利息・配当金収入 **他**
 全体で14億円の利息・配当金収入がありました。

資金支出の部

- ⑤ 人件費支出 **教**
 教育・職員人件費および役員報酬支出、退職金支出で211億円の支出となりました。
- ⑥ 教育研究経費支出 **教**
 授業料等減免費交付金に対する奨学費支出のほか、工大大宮・枚方キャンパス等の空調更新工事がありました。
- ⑦ 管理経費支出 **教**
 学生生徒募集等に係る広告費・印刷製本費、通学バス運行に係る会費負担金・報酬委託手数料を支出しました。また、事務系システムの運用保守費のほか、食堂厨房や学生寮等の施設設備の修繕・保全に係る経常的経費を支出しました。

<参考> 活動区分資金収支計算書

(単位：億円)

区分	予算額	21年度	差異	
教育活動	収入計	415	411	4
	支出計	341	318	24
	調整勘定等	△ 1	△ 1	0
	収支差額	73	92	△ 19
施設整備等活動	収入計	15	7	8
	支出計	38	36	3
	調整勘定等	6	5	1
	収支差額	△ 17	△ 23	6
その他の活動	収入計	450	410	41
	支出計	511	477	34
	調整勘定等	2	2	0
	収支差額	△ 60	△ 65	5
支払資金の増減額	△ 4	4	△ 8	
[予備費]	11		11	
前年度繰越支払資金	157	157	0	
翌年度繰越支払資金	143	161	△ 18	

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ () は内数です。

主な施設・設備関係支出

- ⑧ 施設関係支出 **施**
- ▶ 工大大宮・常翔中高第2部室センター建替工事
 - ▶ 摂大寝屋川キャンパス3.4号館解体跡地外構整備工事
 - ▶ 摂大寝屋川キャンパス現代社会学部棟工事
 - ▶ 摂大寝屋川キャンパス7号館耐震改修工事
 - ▶ 常翔中高東館外構工事
- ⑨ 設備関係支出 **施**
- ▶ 各大学教育研究設備
 - ・工大 光電子分光装置
 - ・摂大 ハイフレックス講義システム
 - ・広国大 ガンマカメラ

<参考> 活動区分資金収支計算書

資金収支計算書を3活動に区分して記載したものです。
 支払資金は4億円の収入超過となりました。

資金収支計算書の目的（学校法人会計基準第6条）

1年間の活動に対応するすべての収入と支出の内容、支払資金の収入と支出のてん末を明らかにします。

2. 事業活動収支計算書の概要

(単位：億円)

科目		予算額	21年度	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	319	321	△ 2
	手数料	10	10	0
	寄付金	4	2	2
	経常費等補助金	60	56	4
	付随事業収入	13	11	2
	雑収入	9	11	△ 2
	収入計	415	411	4
	人件費 (退職給与引当金繰入額)	215 (14)	211 (11)	4 (2)
	教育研究経費 (減価償却額)	157 (53)	144 (55)	13 (△ 2)
	管理経費 (減価償却額)	28 (6)	25 (7)	4 (0)
	徴収不能額等	0	0	0
	支出計	401	379	21
	収支差額	14	31	△ 17
教育活動外収支	受取利息・配当金	11	14	△ 3
	収入計	11	14	△ 3
	借入金等利息	0	0	0
	支出計	0	0	0
収支差額	11	14	△ 3	
経常収支差額	25	45	△ 20	
特別収支	資産売却差額	2	3	△ 1
	その他の特別収入	7	8	△ 1
	収入計	9	12	△ 3
	資産処分差額	5	4	1
	その他の特別支出	0	0	0
支出計	5	4	1	
収支差額	4	8	△ 4	
[予備費]	10		10	
基本金組入前当年度収支差額	19	53	△ 34	
基本金組入額	△ 21	△ 34	13	
当年度収支差額	△ 2	20	△ 22	
前年度繰越収支差額	△ 284	△ 284	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 286	△ 265	△ 22	
(参考)				
事業活動収入計	435	436	△ 2	
事業活動支出計	416	383	32	

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ () は内数です。

教育活動収支

経常的な収支のうち、教育・研究活動による収支です。

収入は、学生生徒等納付金、手数料、経常費等補助金、付随事業収入等で411億円となりました。

支出は、人件費、教育研究経費、管理経費で379億円となり収支差額は31億円の収入超過となりました。

予算額との比較

収入減額の主な要因は、授業料減免交付金の申請が見込みより少なかったこと等による経常費等補助金収入の減額が挙げられます。支出減額の主な要因は、20年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の影響による出張等の自粛などにより、教育研究経費・管理経費の減額が挙げられます。

教育活動外収支

経常的な収支のうち、財務活動による収支です。

受取利息・配当金は14億円となりました。

経常収支差額 (10.7%)

「教育活動収支差額 31億円」と「教育活動外収支差額 14億円」の合計で、45億円の収入超過となりました。

特別収支

経常収支以外の臨時的な収支です。資産の売却や処分による収支、施設設備に係る寄付や補助金などの収入があります。

資産売却差額(収入)では、退職年金引当特定資産の売却などにより全体で3億円の収入があったほか、その他の特別収入では、施設整備等に係る補助金で6億円の収入がありました。

資産処分差額(支出)では、建物・構築物・教育研究用機器備品・管理用機器備品・図書などの処分差額がありました。

基本金組入前当年度収支差額 (12.2%)

「経常収支差額 45億円」と「特別収支差額 8億円」の合計で、53億円の収入超過となりました。

基本金組入額

主な第1号基本金への組入額は以下のとおりです。

- ▶ 2016年度工大梅田キャンパス建設資金に係る借入金返済額
- ▶ 2017年度摂大寝屋川キャンパス日本ペイントHD(株)跡地取得に係る借入金返済額
- ▶ 2018年度工大宮キャンパス3.4号館および広国大呉キャンパス教育会館・クラブハウス建設資金に係る借入金返済額

当年度収支差額

基本金を組み入れた結果、20億円の収入超過となりました。

事業活動収支計算の目的 (学校法人会計基準第15条)

- ① 1年間の活動に対応する事業収入・支出を3活動に区分経理し、その内容を明らかにします。
- ② 基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにします。

基本金への組入れ (学校法人会計基準第30条)

学校法人は教育研究活動を行っていくために、校地や校舎など永続的に保持すべき資産を自己資金で用意しなければなりません。そのため、事業活動収入からその保持すべき資産の金額相当を差し引きます。

3. 貸借対照表の概要

(単位：億円)

科目		21年度	20年度	差異
資産の部	固定資産	2,391	2,343	47
	有形固定資産	1,565	1,592	△ 27
	(土地)	(499)	(499)	(0)
	(建物・構築物)	(893)	(926)	(△ 33)
	(建設仮勘定)	(12)	(1)	(11)
	(教育研究用機器備品)	(61)	(66)	(△ 5)
	(図書)	(97)	(97)	(0)
	特定資産	555	494	61
	(退職給与引当特定資産)	(112)	(113)	(0)
	(資金運用引当特定資産)	(134)	(123)	(11)
	(将来計画引当特定資産)	(258)	(208)	(50)
	その他の固定資産	270	258	13
	(有価証券)	(268)	(255)	(13)
流動資産	232	229	3	
(現金預金)	(161)	(157)	(4)	
(未収入金)	(11)	(19)	(△ 8)	
(有価証券)	(56)	(49)	(7)	
合計	2,622	2,572	50	
負債の部	固定負債	277	285	△ 8
	(長期借入金)	(164)	(172)	(△ 8)
	(退職給与引当金)	(112)	(113)	(0)
	流動負債	127	122	5
	(短期借入金)	(38)	(32)	(6)
	(未払金)	(15)	(15)	(0)
	(前受金)	(59)	(61)	(△ 2)
合計	404	407	△ 3	
純資産の部	基本金	2,483	2,450	34
	第1号基本金	2,414	2,382	32
	第3号基本金	43	43	0
	第4号基本金	26	24	2
	繰越収支差額	△ 265	△ 284	20
	翌年度繰越収支差額	△ 265	△ 284	20
合計	2,219	2,165	53	
負債及び純資産の部合計	2,622	2,572	50	

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※ () は内数です。

資産の部

有形固定資産

摂大寝屋川キャンパス3・4号館および常翔中高東館の解体撤去に伴う除却、現有建物等の減価償却が進んだことにより27億円の減額となりました。

特定資産

本学では、退職給与引当特定資産のほか、教育研究引当、資金運用引当、将来計画引当特定資産があります。

将来計画引当特定資産の追加引当などにより、全体で61億円の増額となりました。

流動資産

現金預金および有価証券の増額等により、全体で3億円の増額となりました。

負債の部

固定負債

返済期限が1年以内の長期借入金を流動負債に振り替えたことにより、長期借入金が減額となりました。

流動負債

1年以内に返済の必要がある短期借入金の増額等により、全体で5億円の増額となりました。

純資産の部

基本金

基本金組入対象資産（土地・建物・構築物・教育研究用機器備品・ソフトウェア等）が34億円の増額となりました。

繰越収支差額

前年度繰越収支差額に当年度繰越収支差額を加算した翌年度繰越収支差額は265億円の支出超過となりました。

貸借対照表

資産、負債および純資産（基本金、繰越収支差額）の3つの部からなり、期末（年度末）の財政状態を明らかにします。

基本金の種類

- 第1号基本金 …… 校地、校舎、機器備品、図書等の有形固定資産の取得価格
- 第2号基本金 …… 将来計画資産を取得する目的で積み立てた預金等の額
- 第3号基本金 …… 奨学基金などの基金の額
- 第4号基本金 …… 運営に必要な運転資金の額（文部科学省の定める額）

4. 財務状況の5ヵ年推移

TOPICS

2017年度
▶ 3大学にて学費改定
▶ 摂南大学寝屋川キャンパス日本ペイント跡地取得
▶ 常翔啓光学園音楽棟及びクライミングウォール竣工
2018年度
▶ 大阪工業大学大宮キャンパス3号館竣工
▶ 広島国際大学呉キャンパス教育会館・クラブハウス竣工
2019年度
▶ 摂南大学枚方キャンパス8号館竣工
▶ 広島国際大学東広島キャンパスActiveWellnessセンター竣工
2020年度
▶ 学生・生徒への緊急学修支援金の支給
▶ 大阪工業大学大宮キャンパス4号館竣工
▶ 摂南大学寝屋川キャンパス2号館・体育練習場・部室棟3竣工
▶ 常翔学園中学高校東館竣工
2021年度
▶ 新型コロナワクチン職域接種
▶ 摂大寝屋川キャンパス7号館耐震改修工事

4-1 資金収支計算書の推移（2017年度～2021年度）

（単位：億円）

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
収入の部					
学生生徒等納付金収入	287	290	287	306	321
手数料収入	11	12	11	10	10
寄付金収入	2	2	3	3	3
補助金収入	56	55	45	61	62
(国庫補助金収入)	(38)	(37)	(28)	(45)	(45)
(地方公共団体補助金収入)	(18)	(18)	(18)	(16)	(17)
資産売却収入	208	286	446	348	323
付随事業・収益事業収入	10	9	9	12	11
受取利息・配当金収入	11	12	12	11	14
雑収入	12	13	10	9	11
借入金等収入	46	47	47	68	30
前受金収入	49	48	57	61	59
その他の収入	145	84	144	69	62
資金収入調整勘定	△ 69	△ 66	△ 54	△ 76	△ 72
前年度繰越支払資金	139	146	156	177	157
収入の部合計	907	938	1,173	1,058	990
支出の部					
人件費支出	203	202	196	205	211
教育研究経費支出	76	78	77	99	89
管理経費支出	20	22	26	17	18
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	23	34	39	45	32
施設関係支出	74	63	102	72	24
設備関係支出	11	13	35	15	12
資産運用支出	342	363	514	420	430
その他の支出	31	30	33	42	29
資金支出調整勘定	△ 19	△ 23	△ 27	△ 15	△ 15
翌年度繰越支払資金	146	156	177	157	161
支出の部合計	907	938	1,173	1,058	990

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2) () は内数です。

4-2 事業活動収支の推移（2017年度～2021年度）

（単位：億円）

科目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	287	290	287	306	321
	手数料	11	12	11	10	10
	寄付金	1	2	4	2	2
	経常費等補助金	44	45	43	48	56
	付随事業収入	10	9	9	12	11
	雑収入	12	13	10	9	11
	収入計	365	370	365	387	411
	人件費	201	202	197	205	211
	（退職給与引当金繰入額）	(13)	(14)	(8)	(10)	(11)
	教育研究経費	127	127	126	154	144
	（減価償却額）	(51)	(49)	(48)	(55)	(55)
	管理経費	28	29	32	24	25
（減価償却額）	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	
支出計	355	358	356	383	379	
収支差額	10	13	9	4	31	
教育活動外収支	受取利息・配当金	11	12	12	11	14
	収入計	11	12	12	11	14
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	支出計	0	0	0	0	0
収支差額	10	12	12	11	14	
経常収支差額	20	24	21	15	45	
特別収支	資産売却差額	5	4	15	2	3
	その他の特別収入	13	13	3	16	8
	収入計	18	17	19	18	12
	資産処分差額	1	3	1	3	4
	その他の特別支出	0	0	1	0	0
	支出計	1	3	3	3	4
収支差額	16	14	16	15	8	
基本金組入前当年度収支差額	36	39	36	31	53	
基本金組入額	△ 41	△ 25	△ 62	△ 52	△ 34	
当年度収支差額	△ 5	13	△ 25	△ 22	20	
前年度繰越収支差額	△ 245	△ 250	△ 237	△ 263	△ 284	
基本金取崩額	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 250	△ 237	△ 263	△ 284	△ 265	

（参考）

事業活動収入計	394	399	395	416	436
事業活動支出計	357	361	359	385	383

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2) () は内数です。

4-3 事業活動収支関係比率の推移（2017年度～2021年度）

（単位：%）

比率	算式（×100）	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	9.2	9.7	9.2	7.3	12.2
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	76.4	76.0	76.3	76.9	75.5
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	14.2	13.8	11.5	14.6	14.1
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.6	0.9	1.3	1.2	1.0
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	53.6	52.9	52.3	51.5	49.7
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	33.7	33.2	33.6	38.6	33.8
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	7.3	7.5	8.5	6.0	5.8

注) 小数点第2位以下を四捨五入しています。

4-4 貸借対照表の推移（2017年度～2021年度）

（単位：億円）

科目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
資産の部	固定資産	2,193	2,232	2,286	2,343	2,391
	有形固定資産	1,510	1,520	1,567	1,592	1,565
	（土地）	(524)	(513)	(499)	(499)	(499)
	（建物・構築物）	(837)	(845)	(875)	(926)	(893)
	（教育研究用機器備品）	(49)	(47)	(67)	(66)	(61)
	（図書）	(95)	(96)	(96)	(97)	(97)
	特定資産	522	511	505	494	555
	（第3号基本金引当特定資産）	(43)	(43)	(43)	(43)	(43)
	（退職給与引当特定資産）	(111)	(111)	(112)	(113)	(112)
	（将来計画引当特定資産）	(268)	(247)	(228)	(208)	(258)
	その他の固定資産	161	201	215	258	270
（有価証券）	(146)	(195)	(212)	(255)	(268)	
流動資産	217	231	239	229	232	
（現金預金）	(146)	(156)	(177)	(157)	(161)	
（有価証券）	(62)	(49)	(49)	(49)	(56)	
合計	2,410	2,464	2,526	2,572	2,622	
負債の部	固定負債	238	246	248	285	277
	（長期借入金）	(126)	(134)	(136)	(172)	(164)
	（退職給与引当金）	(111)	(111)	(112)	(113)	(112)
	流動負債	113	120	142	122	127
	（短期借入金）	(34)	(39)	(45)	(32)	(38)
（前受金）	(49)	(48)	(57)	(61)	(59)	
合計	351	365	391	407	404	
純資産の部	基本金	2,310	2,336	2,398	2,450	2,483
	第1号基本金	2,245	2,269	2,331	2,382	2,414
	第2号基本金	0	0	0	0	0
	第3号基本金	43	43	43	43	43
	第4号基本金	23	24	24	24	26
	繰越収支差額	△ 250	△ 237	△ 263	△ 284	△ 265
合計	2,060	2,098	2,135	2,165	2,219	
負債及び純資産の部合計	2,410	2,464	2,526	2,572	2,622	

（参考）

減価償却累計額	879	910	929	971	1,013
---------	-----	-----	-----	-----	-------

注1) 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

注2) () は内数です。

4-5 貸借対照表関係比率の推移（2017年度～2021年度）

（単位：%）

比率名称	算式（×100）	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	91.0	90.6	90.5	91.1	91.2
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	9.0	9.4	9.5	8.9	8.8
内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	21.8	22.1	21.9	21.3	24.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	192.8	193.1	168.2	187.5	182.6
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	84.8	85.6	87.0	84.8	89.1
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	17.0	17.4	18.3	18.8	18.2
基本金比率 （第1号基本金）	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	94.0	93.4	93.8	93.2	93.9

注1) 小数点第2位以下を四捨五入しています。

注2) 運用資産・・・現金預金＋有価証券＋特定資産

注3) 要積立額・・・減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金